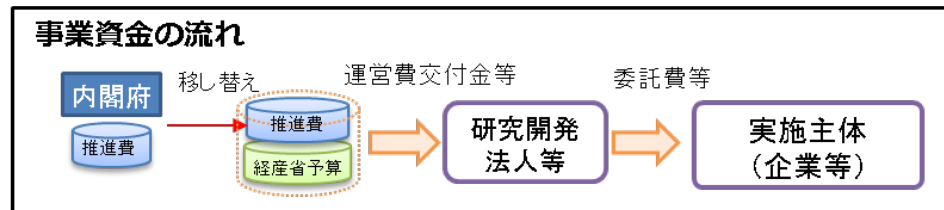
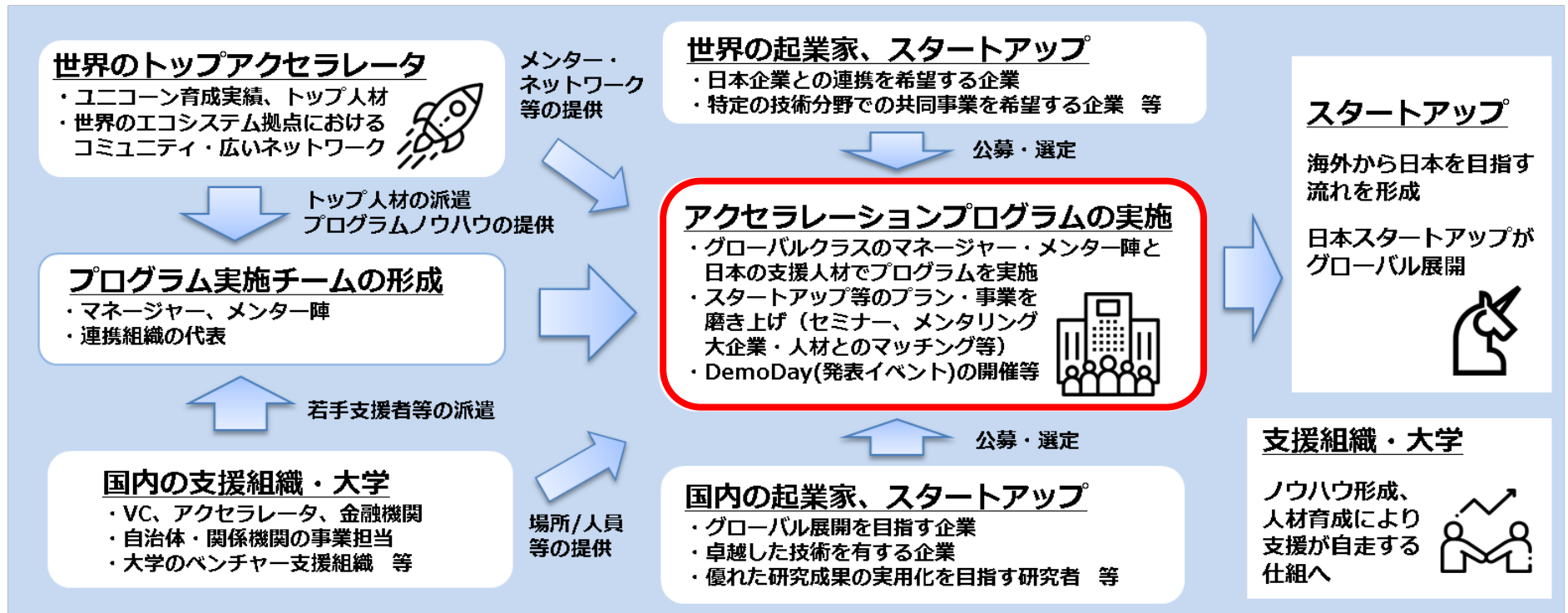


- エコシステム形成と成長促進、官民の投資を誘発するため、拠点都市支援のランドマーク・プログラムとして、アクセラレーション事業を経済産業省のJ-StartupへのPRISM予算の上乗せにより実施。
- 選定された拠点都市で海外トップアクセラレータのプログラムを実施し、世界に羽ばたくスタートアップの育成、世界のトッププレーヤーと各拠点の支援組織の繋ぎやノウハウの移転を実施する。支援する分野や開催形態は各都市と調整。（実施期間は3-4カ月程度。支援分野については、グローバルに競争するAI、IOT、ロボット、ライフサイエンス、素材、環境/エネルギーなどの技術系を想定。）



選定された拠点都市でグローバル視点のスタートアップ育成、支援人材の交流による支援ノウハウの伝達を促進。あわせて投資の実務・契約の基本・事業展開のスピード感などエコシステムの基盤となる知見や行動様式等もグローバル水準に合わせることに貢献。

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）に係る実施体制

総合科学技術・イノベーション会議

ガバナリングボード

プログラム統括

研究開発型

PRISM審査会

領域統括
AI技術

領域統括
建設・インフラ維持管理／
防災・減災技術

領域統括
バイオ技術

領域統括
量子技術

運営委員会

運営委員会

運営委員会

運営委員会

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各省
P
D

各府省庁の施策ごとに各省PDを配置

システム改革型

審査・評価委員会

国立大学イノベーション
創出環境強化事業

スタートアップ・エコシ
ステム形成推進事業

国立大学

- 採択校
- 採択校
- 採択校
- 採択校
- ...

経済産業省

↓
アクセラレーション
プログラムの実施

官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM) 概要

- 官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM) は、総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) の **司令塔機能を強化** するために、平成30年度に創設 (100億円)。

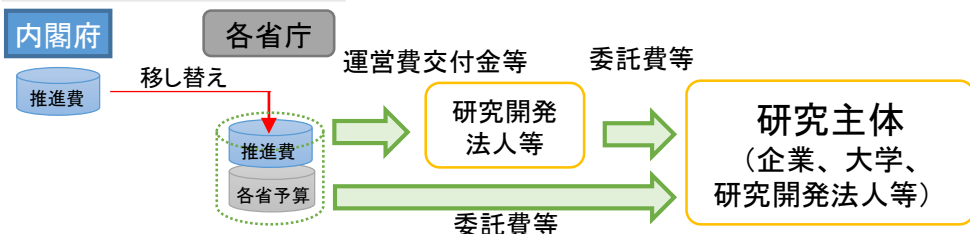
【目的】

民間研究開発投資誘発効果の高い領域 又は **財政支出の効率化に資する領域** への各府省庁施策の誘導を図ることを目的とする。

【事業概要】

- ガバニングボードは、領域を設定し、予算の配分等に強い権限をもった領域統括の下、**統合イノベーション戦略に基づく各種戦略の実現に必要な施策を、トップダウンで決定**。対象施策に係る研究開発の加速、新規研究開発課題の前倒し等に必要となる経費を、内閣府より追加配分。<研究開発型：平成30年度より実施>
[令和2年度領域：AI技術、建設・インフラ維持管理／防災・減災技術、バイオ技術、量子技術]
- **国立大学における民間資金獲得についても推進** することにより、官民の研究開発投資を誘発。<システム改革型：令和元年度より実施>。
- **スタートアップ・エコシステム拠点形成による創業環境整備を推進** することにより、スタートアップを支援し、官民の研究開発投資を誘発。<令和2年度より実施>

資金の流れ



期待される効果

- イノベーション創出につながる **官民研究開発投資の拡大**。
- 民間資金・寄付金など外部資金を拡大できる経営基盤の形成による、**大学等に対する企業の投資額の増大**。
- スタートアップ・エコシステム拠点の形成による、**スタートアップへの投資額の増大**。